

アキナイは、 アイデアだ。

グローバルとは、語学の上達だけじゃない。

ヒントは、ローカルにある。

小樽らしい、コンビニスイーツの開発。

中国語、韓国語など、観光案内の多言語化。

朝ドラで熱い余市での、コンテンツツーリズム企画。

ソーシャルメディアと「小樽雪あかりの路」との連動企画。

市立病院のデジタルサイネージ改良計画。

これらはすべて、小樽商科大学の学生たちの取り組みだ。

観光と地域という視点で、商いを捉えてみよう。

小樽やニセコ、後志、北海道のブランドを磨くことが不可欠だ。

ブランドとはつまり、その「土地らしさ」のこと。

ローカルにしかない魅力が、世界の人を引きつける。

学生時代の地域での「実学」が、世界での仕事に結びつく。

異文化コミュニケーションの、発想の原点になる。

商いに、国境はない。

商いは、クリエイティブでおもしろい。

軸足は地域に。
視点は世界に。

商大は グローバル 大学。

グローバルマネジメント 副専攻プログラム

道内国立大唯一の文部科学省「地(知)の拠点整備事業」の採択を受け、小樽商科大学「No.1 グローカル大学」を宣言。小樽・札幌・ニセコ・倶知安を総合観光地域として創出し、地域活性化をめざします。また来期からは「グローバルマネジメント副専攻プログラム」が始動。伝統の語学教育、産官学のビジネス教育で地域に根ざしたグローバルリーダーを育成します。



有機的な学びを実現する。

「アクティブ・ラーニング」や「ブレンデッド・ラーニング」の考え方を取り入れる小樽商科大学。オンライン授業で学生と教員の双方向のつながりをより深く。タブレット、SNSや動画などのICTをグループワークやプレゼンにも積極的に活用。デジタルに精通した社会人をめざします。今年度は図書館もリニューアル。最新設備と快適性を実現しました。内容の濃い「実学」で経験を積んでください。



No.1 グローバル宣言

グローバル化には、経済

就任して10ヶ月 新・学長メッセージ

道内国立大唯一の文部科学省「地(知)の拠点整備事業」の採択を受け、小樽商科大学「No.1 グローカル大学」を宣言。小樽・札幌・ニセコ・倶知安を総合観光地域として創出し、地域活性化をめざします。また来期からは「グローバルマネジメント副専攻プログラム」が始動。伝統の語学教育、産官学のビジネス教育で地域に根ざしたグローバルリーダーを育成します。

学長 和田 健夫